



市大キャラクター
『ヨッチー』

公立大学法人横浜市立大学記者発表資料

厚生労働記者会・横浜市政記者クラブ同時発表

平成 28 年 8 月 8 日
福浦キャンパス 学務・教務課

医学国際化セミナー特別講演会

『がんになったとき、あなたの大切な子どもに何を知らせますか？』

～がんになった親をもつ子どものケアを考える～

MD アンダーソンがんセンター マーサ・アッシュエンブレナー氏 講演

横浜市立大学は、テキサス州立大学 MD アンダーソンがんセンター^{※1}（以下 MD アンダーソンがんセンター）から講師を招き、『がんになったとき、あなたの大切な子どもに何を知らせますか？』と題して、市民と医療従事者が共に学び、がんに対する理解を深めることを目的とした医学国際化セミナーを開催します。

がん患者の家族や子どもを対象としたケアプログラムを策定・運営する第一人者を招き、がん患者への緩和ケアとともに、子どもを含めた家族への関わり方の大切さ、また、がんと闘う親をもつ子どもに対して私たちは何を伝えればよいのか、どう支えればよいのかについて、理解を深めていただく講演会を行います。

「がんを知り、がん向き合い、がんとともに生きる」ために共に学べるセミナーです。

日 程：平成 28 年 9 月 15 日（木）18：00～20：00

会 場：横浜市社会福祉センター 4 階ホール 〒231-8482 神奈川県横浜市中区桜木町 1-1

- ◆ 参加費：無料
- ◆ 講 師：マーサ・アッシュエンブレナー氏^{※2}（逐次通訳あり）
（MD アンダーソンがんセンター急性期緩和ケアユニット シニアカウンセリングアソシエイト）
- ◆ 主 催：公立大学法人横浜市立大学
- ◆ 共 催：NPO 法人 Hope Tree^{※3}
- ◆ 後 援：横浜市医療局
- ◆ 定 員：300 名
- ◆ 申 込：大学 WEB サイトから <9 月 9 日（金）まで *定員（300 名）になり次第締切>

※部分は裏面に詳細あり

【当日の取材をご希望の方は、前日までに下記お問合せ先までご連絡ください】

YCU
横浜市立大学

| | |
|----------------|-----------------------|
| お問合せ先 | |
| 福浦キャンパス学務・教務課長 | 谷 誠司 Tel 045-787-2501 |

裏面あり

【MD アンダーソンがんセンターとの連携について】

横浜市立大学とテキサス州立大学 MD アンダーソンがんセンターは平成 26 年 4 月にがんの予防や治療に関わる覚書 (MOU) を締結し、がんの分野における教育・臨床・研究レベルでの交流を行っています。

●主な取組

- 平成 26 年 4 月 MOU 締結
- 平成 26 年 9 月 「がんプロフェッショナル公開セミナー」に准教授を招聘し、講演を行う。
- 平成 27 年 1 月 緩和医療分野の視察を目的に教職員等 7 名を派遣。人的交流や共同研究の実施について意見交換を行う。
- 平成 28 年 2 月 学長を始め、教職員、薬剤師などの 7 名が訪問し、それぞれの専門分野について視察を行う。



(左から MD アンダーソンがんセンター Dr. Oliver Bogler, Senior Vice President, Academic Affairs, 本学 田中克子理事長 (当時)、窪田吉信学長)

※1 テキサス州立大学 MD アンダーソンがんセンターとは

テキサス州ヒューストン (米国) にある、がんの治療、研究、教育等の世界最大規模のがんセンターで、1941 年にテキサス大学の附属施設として設立されました。US ニュース&ワールドレポート誌によるベスト病院調査のがん部門で、過去 12 年間で 10 回、全米 1 位を獲得しています。

※2 マーサ・アッシュブレナー氏

(MD アンダーソンがんセンター 急性期緩和ケアユニット シニアカウンセリングアソシエイト)

がんのことをできるだけ子どもに話すためのプログラム・KNIT [Kids Need Information Too] や KIWI [Kids Inquire, We Inform] を立ち上げ、運営を行っています。また、がんになった親をもつ小学生を対象としたサポートグループである CLIMB や、Teen CLIMB (思春期の子ども対象) の活動も支援しています。

※3 NPO 法人 Hope Tree とは

NPO 法人 Hope Tree は、親ががんになった子ども、そしてその患者さん、ご家族を支援する団体です。

「親が病気になっても、子どものたくましい力を育みたい」「病気になって子育てに自信がなくなっている患者さんを支えたい」と、医療ソーシャルワーカー、臨床心理士、チャイルドライフスペシャリスト、医師、看護師が集まり、2008 年 8 月に任意団体 Hope Tree を設立しました。その後、海外の第一人者による講演会、ワークショップを開催し、2010 年には国内で初めて、がんになった親をもつ子どものサポートグループを運営することになりました。現在では、全国どこでも患者さんご家族に支援が届くよう、医療者向けの養成講座、各種ワークショップを開催し、それぞれの医療機関で支援の取り組みが広がってきています。そして、2015 年 11 月に特定非営利活動法人 Hope Tree として新たにスタートを切り、がんの親を持つ子どもたち、がん治療と子育てを両立している人、そのご家族、支えていきたいと願う全ての人たちのために、活動を続けていきます。

参考

「横浜市がん撲滅対策推進条例」(平成 26 年 10 月施行)

横浜市立大学では、横浜市が進める総合的ながん対策の推進に貢献するべく、がん研究を推進しており、研究交流を行う MD アンダーソンがんセンターとの連携強化を進めています。

また、がんに関する市民医療講座により情報発信を行い、広く市民の皆様、がん患者や家族の皆様に向けた支援の取組を進めています。

がん罹患人数 (7 月 15 日付、国立がん研究センター がん情報の総合サイト「がん情報サービス」)

平成 28 年に新たにがん罹患する人が初めて 100 万人を超えるとの予測が、国立がん研究センター (東京都中央区) から公表されています。